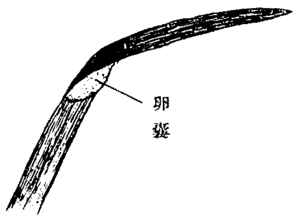


ニグモ其の他の蜘蛛でも見られる處で敢へて珍とするに足らぬかも知れない。併し乍ら日頃あれ程活潑で敏捷なジャムプの名人ササグモも母親となるとこんなにも強く，(?)なるのかと今更の樣に驚かざるを得なかつた次第である。

次に此の標本を自分が京都で採集したものと比較して見たが色彩斑紋等に於て何等特別注意すべき相異點を發見することが出來なかつたのみならず其のEpigyneの構造も全然同一であつた。(1937. 9. 15 記)

稲の害蟲を驅除する蜘蛛

尾 崎 光 太 郎（通信）

拜啓晩秋の候御左右如何に御座候哉御伺申上候。小生共目下稲刈最中に御座候。先日御送附被下しクモ雜誌中福井博士の文中，クモ類の昆蟲捕食のこと之候が，毎日田圃にて作業中注意致し候へば，恐らく稲田一坪の面積に數十頭或は幼蛛も數へれば百の以上も右往左往致し居ると見受申候。彼等が捕へるは浮塵子の幼蟲共，捕へるは捕へるは，若し其の捕へられる浮塵子の數を數へたりとせば莫大な數と相成るならんと存ぜられ，我々の氣付かざる所で默々と此の働きをしてくれるクモ共に感謝せずんばなるまいと存ぜられ候（只彼等の友食が所々に起きるが困つたものと存候)。スヂボソハシリグモキクヅキハシリグモ・ヤハズハヘトリ・ハグモの一種及別封送附のハヘトリ二種等盛に活動致し居り候（種名は小生の貧弱な推定）この二種ハヘトリグモ種名御教へ被下度願上候先は右御願申上候　　草々　　昭和十一年十一月三日

〔植村附記〕 以上は尾崎氏より小生へ下さつた私信の原文其の儘でありますが非常に有益な御通信だと思つたので此所に掲載さしていたゞく事にしました 二種のハヘトリグモは實は一種で彼の有名な♀♂に依つて色彩を異にするオスクロハネグモ *Icius magister* Karsch でした。農村に御在住の方は今後こうした方面に着眼してこれを科學的に御研究になれば蜘蛛は如何に人生に有用な動物であるかが證明されると思ひます。